



深山たかし

発行元：深山たかし後援会
上尾市大字上1774-7
048(776)0575
ホームページ

fukayama.net
”深山たかし”でも閲覧できます。

議会レポート

私は諦めていません

新図書館 複合施設建設

島山市長は価値判断だけで、建設工事を中止させました。

多くの方々が、建設工事再開を要望していたにも関わらず、この二年間、殆ど検討もされていなかったことが分かりました。

各方面に多大な迷惑を掛けて中止した建設工事の是非を問いたい。

また、頓挫してしまっただ図書館建設工事を何としても前進させたいと考えています。

【問】見直しを表明して二年が経過した。

進捗が遅いと思われるが如何か

市民ワークショップの参加者の再考や、今年に入ってからからの新型コロナウイルス感染症の影響により、上平地区複合施設検討委員会の進捗に、遅れが生じておりますが、令和二年度中の基本構想の策定を目指したい。

【問】市長の表明した計画の見直しとは、

それまで検討されてきたことを、内容を含め白紙に戻すことなのか
上平地区複合施設は、市民の皆さまに活用していたと、図書館分館機能を持つ複合施設が相応しいと考え、当

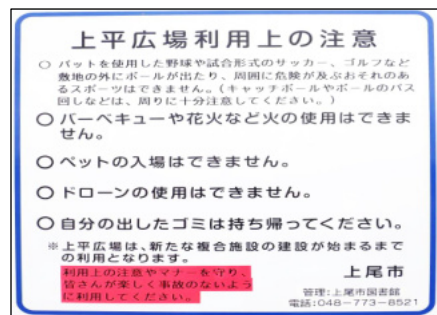
初の計画を見直すものです。それまで検討されてきた、「集う空間」や「市民の皆さまのコミュニケーションの場」といったコンセプトなども、取り入れていきたいと考えている。

【問】上平地区複合施設は、市民ワークショップで提言された意見をどのように反映するの

市民ワークショップでは、上平地区複合施設に付加する市民サービスなどについて、広く意見を伺ったものです。上平地区複合施設では、市民の皆さまに喜んでいただける施設とするため、市民ワークショップや事業見直しまでにいただいた、多くのご意見を参考にしながら、付加すべき市民サービスをとりまとめたいと考えています。

【問】上平地区複合施設は、見直しとなった新図書館複合施設の基本コンセプトを引き継ぐべきと考えるが如何か
(副市長答弁)

見直しとなった新図書館複合施設は、ランニングコストの算出や、市民サービスの内容などが曖昧であったことから、全てのライフサイクルコストなどの経費を明確にした上で、本市の公共施設マネジメントと市民ニーズを踏まえ、再検討すべきと考えたことから、島山市長がその見直しを指示したものと理解しています。
したがって、それまでのコンセプトを全て否定したものではなく、取り入れるべき考え方や方向性は引き続き検討を進めるとともに、基本構想がまとまり次第、早急に市民に、提示したい。



多目的広場に設置されている看板

【問】暫定利用は、いつまで続くのか

「上平地区複合施設建設予定地の暫定利用」ですが、広場としての暫定利用については、建設着工までの利用を想定していますので、工事に着手する前年度までの利用となります。

【問】今後のタイムスケジュール

「今後のタイムスケジュール」ですが、令和二年度において、まず全体のコンセプトを定め、続いて複合する公共施設と、そこに付加される市民サービスを決定

し、基本構想として取りまとめ、翌三年度からの基本設計、実施設計を経て、最短で令和五年度からの工事着手を目指します。

◎損害賠償請求事件に係る訴状について

令和二年六月二十九日(月)、原告アサヒ住建株式会社、被告上尾市とする損害賠償請求事件に係る訴状が本市に送達されました。

訴状は、原告と被告との間において平成二十九年九月二十日に成立した(仮)新図書館複合施設建設工事(空調換気設備工事)に係る工事請負契約について、当該契約を解除したことにより生じた損害金六千九百七十万一千二百五十二円及びこれに対する平成三十年七月十日から支払い済みまで年六分の割合による

遅延損害金の支払いを求めらるものである。

建設業者への対応も粗さが見えて損害賠償請求も出されました。一つ一つ丁寧に取組んでいない証拠です。畠山市長は、自ら判断を下した結果に対し責任を取るべきです。

☆☆国の補正予算関係事業☆☆

ICT教育の準備状況

国の新型コロナ対策の一環で、小中学校のオンライン授業への実現が一気に高まっています。

整備する端末については、平成三十年度に中学校に七百台、平成三十一年度に小学校千六百三十二台、合計二千三百三十二台の整備を

行っています。

今回の事業は、一人一台端末を整備するために、新たに小学校九千六百五十五台、中学校四千九百五十六台、合計一万四千五百六十一台を追加整備します。

整備する端末の操作・運用を司るシステムソフトウェア、いわゆるOSについては、国がモデル例に提示しているWindows、Chrome、iPadの中から入札によ

り対応する予定です。

本事業は、端末、機器保証、ネットワーク設定に係る費用として、五年間の総事業費約九億三千万円を予定しています。

うち、約五億八百万円につきましては、令和二年度公立学校情報機器整備費補助金を活用し、市の負担分として、約四億二千二百万円となります。

【上尾市】新型コロナウイルス感染症対策に係る一般会計補正予算(第5号)について

令和2年6月24日

- 5月12日に公表した「新型コロナウイルス感染症対策に係る上尾市の独自事業」に引き続き、さらなる本市の独自事業を実施するために、以下の事業等を計上した一般会計補正予算(第5号)を令和2年6月定例会に追加提案。
- また、国の第2次補正予算(6月12日成立)に盛り込まれ、全国一律で実施することとなる「低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金」等についても、本補正予算案に計上。

<上尾市一般会計補正予算(第5号)>

ポイント

歳入歳出補正額: 3億7,617万円(補正後予算額: 904億3,433万円)
※当初予算計上事業の一環執行見合わせによる歳出予算の減(▲)3億2,577万円を含む。

- **水道基本料金の免除** **3億3,580万円**
すべての利用者を対象に、4か月間、水道基本料金の徴収を全額免除
- **就学援助認定者支援臨時給付金** **1,983万円**
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済状況の悪化による影響が懸念される就学援助認定者に対し、対象児童・生徒1人あたり3万円を支給
- **妊婦応援タクシー利用料金助成事業** **1,549万円**
通院等における感染リスクの低減及び身体的・経済的負担の軽減による健やかな出産への寄与を目的として、妊婦1人につき1万円分のタクシーチケットを支給
- **「花」産×「花」産×「花」産 農産 応援事業** **410万円**
市内花き生産者を支援するため、花き生産直売所で使えるクーポン券(2千円分)を結婚届提出者へ贈呈
- **指定避難所への感染拡大防止物資の配備** **3,365万円**
災害発生時の指定避難所における感染拡大を防止するため、パーテーション及びテント等を配備

<本補正予算案における追加事業費(上記事業含む)の総額> **7億194万円**